

INFORMATION

プラネタリウム一般番組

宇宙を広げた人～エドウィン・ハッブル～

20世紀、私たちの宇宙観を大きく変えてしまった二つの大発見と、その発見の立役者となった天文学者、エドウィン・ハッブルを紹介します。

9月9日(土)→12月10日(日)

平日	18:00
土曜日	11:30* 13:30 17:30
日祝日	11:30 15:30

*第2・第4土曜日は子ども番組「キッズ・アワー」となります。

星空ライブトーク

今夜の星空と月替わりの天文の話題を解説。

9月「お月見のはなし」

10月「スターダスト探査機」

11月「しし座流星群」

土曜日	15:30
日祝日	13:30

MUSIC PLANET ミュージック・プラネット

満天の星空と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

9月「サラ・ブライトマン特集」

10月「倉木麻衣特集」

11月「(未定)」

土曜日	19:00
	9月16・30日
	10月14・21・28日
	11月11・18・25日

■料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円

第2・4土曜日は小・中学生以下無料

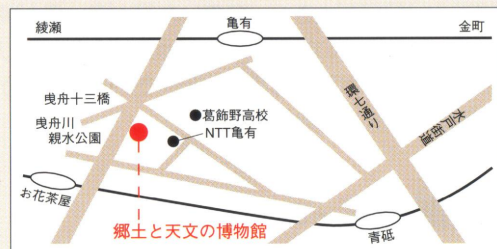
■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)/第2・4火曜日

12月13日(水)～15日(金)(番組入替のため)

■上映15分前までにご来館ください。

交通のごあんない



■京成線 [お花茶屋] から8分

■JR常磐線 [亀有] から25分

■京成バス (有57 亀有-奥戸車庫)

[共栄学園] 下車徒歩5分

■駐車場に限りがございます。

電車・バスをご利用ください。

インターネット・ホームページ <http://www.obs.misato.wakayama.jp/~katusika/index-j.html>

葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101

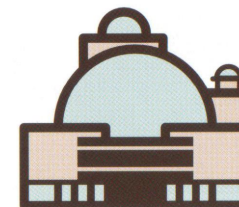


アンドロメダ銀河 (東京大学理学部木曾観測所撮影)

PLANETARIUM

宇宙を広げた人～エドウィン・ハッブル～

Vol.38 2000・秋



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

アンドロメダ姫、危機一髪。



■ いけにえになったお姫様

秋の宵の空高く輝く4つの星が大きな四角形を作っています。これが『秋の四辺形』。アンドロメダ座の星々は、この4つの星のうち北東の星を頭に、アルファベットの『A』の字の形に並んでいます。

ギリシア神話では、彼女は古代エチオピア王国のカシオペア王妃の娘・アンドロメダ姫。カシオペアが自分の美しさを自慢しすぎたために、海の神・ポセイドンを怒らせてしまい、アンドロメダは海の怪物ティアマトのいけにえにされてしまいます。しかし、あわや怪物にひと飲みされそうになった時、天馬ペガサスにのったペルセウス王子によって助けられるのです。

■ 話題の天体たち

この星座で有名なのは、なんといっても『アンドロメダ銀河』でしょう。空の暗いところへ行けば、肉眼や双眼鏡でもほんやりとした姿を見ることができます。表紙の写真は大きな天文台で撮影された姿です。このほんやりとした天体の正体が何で、どのくらい遠いところにあるのが、20世紀始め頃の最大の宇宙の謎でした。

また、最近ではアンドロメダの左足に輝く『ウプシロン星』も話題になっています。この星のまわりを3個の惑星がまわっているらしいことがわかってきたからです。ひょっとしたら、惑星を持つ星は宇宙にたくさんあるのかも知れませんね。

銀河の世界をさぐる

アメリカの天文学者・ハッブルによって、宇宙は銀河系のずっと外まで広がっていること、そしてそこには銀河系と同じような星の集まり『銀河』が無数にあることがわかりました。この銀河の宇宙は、いったいどんな世界なのでしょうか。ハッブルはさまざまな銀河を観測して、次のように分類しています。

うずまき

渦巻銀河～星たちが作る美しい渦～



M100 (国立天文台ハワイ観測所)

『銀河』と聞いて多くの人がイメージするのがこの渦巻銀河。たくさんの星たちが美しい渦を作りながらゆっくりと回転しています。渦のように見えるのは、星たちがたくさん生まれている場所で、さざ波のように移り変わっているとされています。

ぼうずまき

棒渦巻銀河～私たちの銀河系の姿?～



NGC1365 (ヨーロッパ南天天文台)

渦巻銀河に似ていますが、まん中に棒のように見える部分があって、そこから渦巻の腕がのびている銀河です。私たちの銀河系もこのような形をしているのではないかとされています。

だえん

楕円銀河～合体してできた? 巨大な銀河～



M87 (アングロ・オーストラリアン天文台)

渦巻はなく、丸い形や楕円形をしている銀河。渦巻銀河より規模が大きく、年老いた星が多いのが特徴です。いくつかの銀河がぶつかったり合体したりして、このような巨大な銀河ができたのではないかと考えている人もいます。

ふきそく

不規則銀河～でき方もいろいろ～



M82 (国立天文台ハワイ観測所)

上の3つのどれにも分類できない、不規則な形をした銀河です。もともとそのような形をしている銀河もありますが、星がたくさん生まれて形が変わったものや、銀河同士がぶつかって形が変わったものもあります。